

**機関誌「食生態学—実践と研究」をじっくり読み合ひましょう**

# “新しい「共食」観を求めて！”

## ●基調講演：新しい「共食」観を今、なぜ問うか

足立己幸 NPO 法人食生態学実践フォーラム理事長  
女子栄養大学名誉教授・名古屋学芸大学名誉教授（食生態学・食教育学）

## ●執筆者討論 座長 平本福子 宮城学院女子大学教授(食教育学)

小・中学生の自発的コミュニケーションから見た共食 衛藤久美 女子栄養大学助教（食生態学）  
福祉施設発で地域に広がる共食 針谷順子 社会福祉法人健友会部長(調理教育学)  
食台からみえる“共食” 城市真紀子 「栄養と料理」編集部、他

●日 時：2014年5月25日(日)14:00～16:30

●会 場：日本女子大学 新泉山館 JR山手線目白駅から徒歩約15分/日本女子大学行バス約5分  
東京メトロ有楽町線護国寺駅(4番出口)から徒歩約10分  
東京メトロ副都心線雑司が谷駅(3番出口)から徒歩約10分

今、“共食”は「第2次食育推進基本計画」や「食育ガイド」、「健康日本21(第2次)」、「健康な食事」、「和食文化」等健康や食分野における行動目標や評価指標として位置づけられるようになり、全国的に超ホットな課題です。私たちは NPO の前身である「食生態学実践グループ」時代に、共食の重要性を社会に提案し、実践と研究に取り組んできている立場から、概念や方法についても責任をもって対応しなければならないと考えます。大きく変化するライフスタイルや不安定な食環境の中で、共食についてどう考え、どうしたらよいか？新視点を積極的に取り込みながら、考えたいと思います。

「食生態学—実践と研究」第7号の特集で取り上げましたので、この内容をたたき台に討論します。執筆者の方々による直接交流「執筆者討論」という新しい試みを試みます。第7号を熟読して、ぜひ、参加してください！！

なお、「今、共食を考える」名古屋学芸大学健康・栄養研究所年報第6号特別号も参考にしてください。

<http://www.nuas.ac.jp/IHN/report/index.html>

【参加費】 会員・無料、非会員 2,000 円、学生非会員 500 円(授業等で参加の場合はご相談ください)

【申込方法】 申込用紙にご記入のうえ、メール又は FAX でお申し込みください。

<主催> NPO 法人 食生態学実践フォーラム

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-16-10 コーポ小野 202

tel&fax: 03-5925-3780

E-mail: [forum0314@angel.ocn.ne.jp](mailto:forum0314@angel.ocn.ne.jp)

NPO法人 食生態学実践フォーラム 研修会

NPO 法人 食生態学実践フォーラム  
Fax: 03-5925-3780

## 総会・研修会会場案内

【会場】日本女子大学 新泉山館

【住所】東京都文京区目白台 2-8-1

### 【交通】

- JR 山手線目白駅から

- ・徒歩:約 15 分

- ・バス:約 5 分(バス停の場所は下記の地図を参考にしてください)

新宿駅西口・椿山荘行き都バス(白 61):①、③乗り場「目白駅前」

降り場「日本女子大前」

- 東京メトロ有楽町線護国寺駅(4 番出口)から

- ・徒歩 約 10 分

- 東京メトロ副都心線雑司が谷駅(3 番出口)から

- ・徒歩 約 10 分

